

# すみよし

## 第69号

発行所 社会福祉法人 一 寿 会  
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6  
 電話 022-379-8030  
 発行者 理事長 関 野 愉

- 住吉台こども園  
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-0164
- 仙萩苑 (障害者支援施設)  
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-8030
- 一寿園 (就労継続支援B型事業)  
 仙台市太白区富田字南ノ西26番地 TEL(022)243-3447
- 長命ヶ丘つくしこども園  
 仙台市泉区长命ヶ丘三丁目20番10 TEL(022)772-0035
- 名取みたぞのこども園  
 名取市美田園五丁目3番地5 TEL(022)784-1020
- 名取あけぼのこども園  
 名取市増田六丁目1番40号 TEL(022)382-2711

印刷 令和7年2月26日  
 発行 令和7年2月28日



### ■ 名取あけぼのこども園 (p6)

#### ■ 住吉台こども園 (p2)

- ・野菜の収穫
- ・クリスマス誕生会



#### ■ 長命ヶ丘つくしこども園 (p3~p4)

- ・運動会
- ・子育て支援活動
- ・生活発表会



#### ■ 名取みたぞのこども園 (p4~p5)

- ・四歳児親子遠足
- ・クリスマス制作
- ・餅つき会



#### ■ 名取あけぼのこども園 (p6)

- ・食育 さつまいももち作り
- ・二歳児集団遊び



#### ■ 仙萩苑 (p7)

- ・クリスマス忘年会
- ・新年会・書き初め会



#### ■ 一寿園 (p8)

- ・防災訓練



# 住吉台っども園

## 野菜の収穫



今年度は三歳未満児合同で「赤しそ」の種を蒔きました。赤しその生育はプランターごとにばらつきはあったものの、みんなで匂いを嗅ぎながら八月末の収穫を楽しみにしていました。初めに、「三歳未満児のハッピーデーで「しそジュース」を作りました。ホールに集まり、栄養士さんがお湯の中にしその葉を入れ、まるでマジックのようにお湯の色が赤紫色に変化していく様子を驚いた表情で見つめていた子どもたち。そこに、砂糖とレモンを入れると鮮やかな色になり、子どもたちからは大きな拍手がおこりました。おやつ



時間にみんなで飲み、子どもたちはおかわりをして喜んでいましたよ。次は、しそジュースのしそを干して、ゆかりのふりかけにしました。干している時からとっても良い香りがして、子どもたちは興味津々！お家で食べたことのあるゆかりのふりかけが出来上がるのを楽しみにしていました。自分たちで育てた赤しそがゆかりおにぎりになり、いつもより食欲が増し、お腹いっぱいになりました。今回初めて赤しそを育ててみて、種まきから収穫、そしてジュースとふりかけになるまでの楽しさをみんなで味わうことができてとても素敵な経験となりました。今後とも食育の楽しさを大事にしていきたいと思えます。(保育教諭 尾形 美有紀)

## クリスマス誕生会



十二月二十四日に、ホールでクリスマス誕生会が行われました。十二月の

誕生児は四名でした。誕生児の子どもは、サンタクロースやトナカイの衣装を着て、可愛く変身して登場してくれました。インタビュでは「お名前を教えてください。」「何歳になりましたか？」「好きな食べ物は何ですか？」「サンタさんから何をもらいたいですか？」という質問に少し恥ずかしそうにしながらも答えていました。お友だちから誕生カードをもらい、誕生日の歌のプレゼントをもらって喜んでいました。お楽しみは「森のクリスマス」のペープサートでした。動物が登場する度に「きりんだ」「ワニだ」と言って嬉しそうに見たり、一緒に「メリーメリークリスマス」と歌ったりしながら楽しく見ることができました。その後は、クリスマスメニューの給食でした。リースの形のピラフ、ツリーの形のポテトサラダ、鶏の唐揚げ、コーンかきたまスープ、フルーツポンチでした。給食を見た子どもたちから「わー。おいしそう」「すごい」という喜びの声が聞かれました。何から食べよう

か考えながら、保育教諭や友だちとクリスマスのお話をしながら、美味しく食べることができました。みんなでクリスマスのお楽しみをすることができた一日となりました。

(保育教諭 佐々木 愛香)



# 長命々丘づくしごども園

## 運動会



十月十二日に運動会が行われました。年長児が思いを込めて作ったてるてる坊主の願いが届き、快晴の中での開催となりました。一部は0、一、二歳児クラス、二部は三、四、五歳児クラスの競技が行われました。一部のオープニングは可愛いモンスターに変身して「ガオガオオールスターズ」の音楽に合わせて体を動かしました。その後の各クラスの親子競技は、初めての運動会となる子もいましたが、大好きなお家の人と一緒にお面や衣装を身に付け、カートに乗ったり、トンネルをくぐったりして楽しく体を動かすことができました。二部では「ポケモンダンス」のオープニングで元気いっぴいスタート。音楽の途中で笛の合図に合わせて、年上の子が年下の子の手を優しく取りながら体形移動をし、異年齢児で協力しながら踊る姿が見られました。かけっこ、障害物競争では、日々運動会に向けて練習を頑張ってきた鉄棒や跳び箱、走る姿等自信を持つ難しい技が曲中に組み込まれ一つ一つ心を

合わせて全員で技を成功させることができました。三、四歳児親子競技では台風の目を行い、親子で声を掛け合いながら体を動かすことができ、運動会らしい光景が見られました。プログラム最後となるリレーでは最後まで諦めずに一生懸命走り、友だちにバトンを繋ぎ、沢山の人の応援と感動で溢れました。お家の人や友だちから沢山の声援をもらい、一生懸命頑張った思い出は心の中に残ったと思います。沢山のご声援ありがとうございました。

(保育教諭 佐々木 郁美)



## 子育て支援活動



十一月十九日に、ホールにて「地域子育て支援活動つくしっこひろば」で小麦粉粘土をして遊びました。今回は五組の親子が参加してくれました。粘土は前日に担当保育教諭がこねて一人分ずつ用意しておきました。赤、青、黄色の食紅で色を付けて遊ぶことを説明した後に粘土を配ると、少し大きいい二歳の子たちはお母さんと一緒にすぐに取り掛かり楽しむ様子が見られました。なかなか色が付かず苦戦する様子もありましたが、食紅を追加しながら、保育教諭も一緒に混ぜていきました。

その後は三色にした粘土を混ぜて違う色を作り、0歳の子たちは袋に入れたままお母さんと一緒に触り冷たさや感触を楽しんでいました。最後に親子で丸めたり細長くしたり、色々な形を作ってハンバーグや卵焼きなどに見立て、透明パックに入れてお弁当を作り、お土産で持ち帰れるようにしました。保護者の方からは「なかなか家で小麦粉粘土をする機会を持たないので楽しめました」との声をいただきました。今後も親子で楽しめる活動を考え、提供しながら地域の方たちとのコミュニケーションを図っていきたいと思います。

(保育教諭 加藤 さゆり)



# 生活発表会



十二月二十一日に、生活発表会が行われました。毎日練習を積み重ね、緊張と楽しみな気持ちの中、本番を迎えました。0歳児は「ゆかいなこびとのなかまたち」の表現遊びを行いました。子どもたちは可愛い小人に変身して登場し、お返事をして「きらきらぼし」の曲に合わせて手作りの楽器を持って楽しみながら演奏する姿がありました。一歳児は「やさいさん」の表現遊びを行いました。色々な種類の野菜に変身し、元気に「ミックスジュース」の踊りを披露してくれました。二歳児は「おかしのはしのくいしんぼう」のオペレッタを行いました。こんぺいとうや、ドーナツなどお菓子のダンスを踊り、友だちと一緒に台詞を言って、劇ごっこを楽しみました。役になりきっている姿が可愛らしかったです。第二部は三歳以上児、三クラスのオーピング合唱「ともだちさんか」「ウィンターワンダーランド」で始まりました。三歳児は「もりのクリスマス」の劇を行いました。台詞や歌を覚えて楽しく演じることができました。四歳児は「ヘンゼルとグレーテル」の劇を行いました。一人一人役になりきり大き

な声で頑張る姿がありました。五歳児は「ピーターパン」の劇やエンディングでの歌や合奏を行いました。海賊とピーターパンの迫力のある戦いのシーンや息の合った合奏や歌を発表してくれました。年長児は司会も一生懸命やり遂げた姿が感動的でした。生活発表会を通し、子どもたちの成長や頑張りを保護者の皆さんと一緒に感じることができるとなりました。

(保育教諭 根田 久美)



# 名取みだのこども園

## 四歳児親子遠足



十月二十八日、親子遠足で国営みちの杜の湖畔公園に行ってきました。親子遠足があることを伝えた時から、ずっと楽しみにしていた子どもたち。「お家の人と一緒にだよね?」「楽しみ!」と心待ちにしていました。行きバスの中では、お友だちや保護者の方との会話を楽しみながら過ごしました。公園に着くと、魅力的な遊具や場所があり、保護者やお友だちと一緒に色々な場所を回っていました。一番人



気だったのは、ボールプールで、沢山のボールに埋もれたりボールを投げたり大喜びでした。その他にもゴーカートやローラー滑り台、ロープジャングルジムやターザンロープ等、様々な遊びをのびのびと楽しみました。沢山遊んだ後は、美味しいお弁当やおやつを食べました。「美味しい!」と言いながら、喜んで食べる姿がとても微笑ましかったです。昼食中に小雨が降りましたが、食べ終わる頃には天気が回復し、午後も遊ぶことができました。帰りのバスの中では、楽しかった思い出を胸に、すやすやと眠る子が多くいましたよ。良い思い出となった親子遠足でした。(保育教諭 村山 和佳奈)

# クリスマス制作



十二月十七日、二歳児クラスでクリスマスの制作活動を行いました。緑と黄緑の折り紙を三角に折り、それを縦に三枚並べてクリスマスツリーに見立てました。子ども園の玄関に飾ってあるクリスマスツリーを思い出しながら作る子や、クリスマスの絵本に出てきたサンタクロースやプレゼントなどの話をしながら作る子もあり、制作活動を楽しみながらクリスマスへの期待も膨らませていました。ツリーに見立てた三角の折り紙は、子どもたちが指先に付けた糊を少し塗り、台紙に貼りました。「飾りも貼りたい」と、楽しみにする子どもたち。丸いシールや雪、星の飾りを用意すると、思い思いに貼り付けて、ツリーへの飾り付けを楽しみましました。クラスでスノードームを見た際に「キラキラしているね」「動いている綺麗だね」などと、目を輝かせて感動していた子どもたちの姿があったので、出来上がったクリスマスツリーにスノードーム風の台座を付けました。それを見た子どもたちは、「スノードームだね」「雪が降っているみたいだね」と、ツリー装飾の輝きや雪が降る様子



をイメージしながら完成を喜んでいました。  
 (保育教諭 田中 久美子)



# 餅つき会



十二月二十六日に、餅つき会が行われました。なぜ年の暮れに餅をつくの、鏡餅は何の為に作るのか等、由来について子どもたちに伝え、白米と餅米の違いを見比べることに。「餅米の方が白い」「餅米の方が少し大きい」等、沢山の違いを発見していました。また、蒸した餅米も見せてみると「ご飯みたいになった」「良い匂い」とお話しする姿も見受けられました。餅米の準備も整い、次はいよいよ餅つき



です。保育教諭が餅をつき始めると「よいしょー!よいしょー!」と、自然と大きな掛け声で応援してくれる子どもたち。少しずつネバネバして餅状になっていく様子を「伸びてきた」「うわー!」等と言いながら喜んで見えました。最後は、年長さん一人一人に餅をついてもらいました。とても重い杵を一人で持ち、力一杯ついでくれました。皆で協力してついた餅で鏡餅を作り、無事に年神様を迎え入れることができました。今後も、日本の伝統文化に触れる経験を大切にしていきたいと思えます。  
 (保育教諭 古瀬 幸)



# 名取あけぼのぐも園

## さつまいももち作り

十一月二十二日に三〜五歳児でさつまいももち作りを行いました。先日、三歳児が畑のさつまいもを収穫したばかりということもあり、袋の中に入った材料を見て「あ、さつまいもだ」と気付く子が沢山いました。栄養士の先生に作り方を教えてもらいながら、作り始めたのですが、初めは力加減が分からず、なかなか潰れなかったり、袋の中でさつまいもに逃げられ、潰せなかったりする姿がありました。その時に「粘土の時みたいにすればいいん



じゃないかな」という友だちの気付きがあり、袋を机に置き、手で上から押すことでしっかりと潰せることを発見していました。生地をクッキングペーパーに出して形成すると、一人一人個性豊かな形のが出来ました。そして午後のおやつに自分の作ったさつまいももちを食べました。「こねこねするの楽しかったね」「家でも作ってみたいな」と友だちと楽しい活動ができたことへの満足感を持って、家でも作ってみたいと食育に興味を持ってたりする姿に繋げることが出来ました。これからも、友だちと一緒に作って食べる経験を積み重ね、様々な食材に親しめるようにしていきたいと思えます。



(保育教諭 加藤 郁)

## 二歳児集団遊び



十月の運動会が終わり、身体を動かす楽しさを知った二歳児クラスのうさぎ組さんたちは「むっくりくまさん」や「だるまさんがころんだ」などの集団遊びを友だちと一緒に楽しみながら体を動かして遊んでいます。ルールを少しずつ理解できるようになってきた子どもたちは、自分から「やりたい」と言って一緒に遊ぶ友だちを探したり誘ったりして楽しむ姿が増えていきます。始める前には必ず安全に遊べるように約束事を確認し、子どもたちも「おともだち、おさないんだよ」など教えてくれる姿もあります。むっくりくまさんではくまさん役を囲み、ドキドキしながら回る子どもたちの表情がとても可愛らしいです。くまさん役も人気で、にこにこしたり、くまになりきって少し怖い顔をしたりしながら追いかける姿も見られます。捕まる時も「捕まっちゃった…」と少し悔しそうな子や、わざと捕まってニヤニヤする子どもも様々です。「だるまさんがころんだ」は、始めた頃はすぐに動いてしまったり、タッチした後逃げなかつたりと少し難しいかな、と思う場面が多くあり

ました。回数を重ねていくうちに保育教諭が振り向くとピタッと止まったり、歩くスピードを変えたりと上手に出来るようになりました。戸外だけでなく、室内でも集団遊びは盛り上がりを見せています。「椅子取りゲーム」や「フルーツバスケット」なども子どもたちは大好きで、負けた悔しさから涙を流す子もいます。そんな時は、一人一人の気持ちを優しく受け止め「次は頑張るぞ」と意欲を持てるようにしていきました。今後も、友だちと一緒に遊ぶ面白さや、勝った喜び、負けた悔しさなど様々な気持ちを味わうことが出来るような活動を取り入れていきたいと思えます。

(保育教諭 星 はるな)



# 仙萩苑

## クリスマス忘年会

ここ仙台にも冬の寒波が到来した十二月二十二日、仙萩苑ではクリスマス忘年会が開催され、入居者、職員ともに和やかな一日を過ごしました。当日は、仙萩苑サンタとトナカイがそりで登場し開会。職員の余興として仙萩亭健康による落語「十二誕生物語」や、職員全員参加によるパント相撲を披露し、一同爆笑の渦に包まれました。昼食はキラキラとしたライトアップの中での素敵なクリスマスメニューで、普段よりも更に箸が進んだ様子でした。入居者の皆さん、これからも寒い日が続きますが、今回の行事での楽しい思い出を糧に健やかに過ごしてください。

(生活支援員 星 美津子)



## 新年会・書き初めの会

一月五日、仙萩苑では新年会・書き初め会が開催されました。年祝いを迎えられた方々に今年の干支である「巳」を記念に書き上げて頂きました。力強く筆を入れる姿に思わず息を呑んで見守ってしまいました。そして立派に書き上げられた「巳」の一字。沢山の拍手が響き渡りました。今年の干支である蛇のように入居者の皆様が末永く健康な一年を過ごせますように。

(生活支援員 庄司 正広)



# 一寿園

## 防災訓練



十二月二十一日、冬晴れの暖かい日に防災訓練が行われました。いつものようにサイレンが鳴ると、みんなで一斉に避難します。二階から一階への移動は非常階段を使い、急ぎつつも転倒しないよう慎重に。職員は見守りと介助をしながら一緒に降りていきます。無事避難が完了したところで、次は水消火器の訓練に移ります。初めての方は体験必須の洗礼を受け、消火活動を行っています。



その後施設長からお話がありました。今回非常時に園で三日間滞在できる最低限の備蓄品を揃えたとお知らせがあり「使わないのが一番良いことですが、最低限の物は備えてありますので。」とのことでした。水や非常食、石油コンロ、白灯油、簡易トイレ等あるのでいざという時は安心です。ちなみにですが防災備蓄として水を用意する時は「一日三リットル×人数分」と覚えておくと良いそうです。ご家庭の備蓄品はいかがでしょうか？三月で震災から十四年経ちますので、賞味期限等、確認をしてみなくては。

(職業指導員 渡辺 寿子)



### 編集後記

先日、利用者の送迎中、信号待ちで後方から追突されました。幸いコツンと軽く当たった程度で乗車していた利用者に怪我は無かったのですが、直ぐ警察に連絡しましたが、なかなか来ず。気を揉んで待っていると、警察官2名がまさかの徒歩でやって来ました。警察署が近くだと歩いて来るんですね。その後、聴取をして保険会社とのやり取りをしてと…もらい事故ってホント当てられ損ですよ。車輛の修理には約1ヶ月かかりました。車を運転する身としては、自分が加害者にも被害者にもならないよう、運転中は一層気を引き締めたいと思いました。年明けからついてないなー、もっと違うもの(くじ引きとか)に当たってほしかったなー。